



JORNAL NIKKEY SHIMBUN

DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI

Rua da Glória, 332 - Liberdade CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil

# マイアとゲデスが和解へ

## 政界と経済界を揺るがせた対立

### 支出上限厳守を再確認

対立を続けていたロドリゴ・マイア下院議長とパウロ・ゲデス経済相は5日、連邦議員らを取り持った夕食会で顔を合わせ、共に託びを入れて和解した上、経済改革を継続していくことで意見を共にした。5、6日付付字紙、サイトが報じている。

### 新福祉政策にも影響か

この手打ち式は連邦議員らが仕切ったもので、連邦会計検査院(TCU)のブルーノ・ダンタス判事の自宅で行われた。マイア議長はこの会に民主運動(MDB)の下院リーダーのバレイリア・ロッシ氏を伴って現れた。一方、ゲデス氏はルイス・エドゥアルド・ラモス大統領府秘書室長官と共に現れた。



マイア議長とゲデス経済相

だが、議員たちが準備した、和解を期待しての会合で、両者はこれまでの発言を大きく和らげず、マイア氏はゲデス氏に対し、「2019年の下院議長選の際、連邦政府で唯一私を推してくれただけでゲデス氏だけだった」と切り出し、「それなのに、いざ政権が始まってみると、意見の対立や間違いが起り、パデミックでそれが深まってきた。これを繰り返さないように、辛くも物言いに耐えてきた」と述べた。6日付付字紙は、最高裁判事候補カシオ氏の口頭試問は21日、上院憲政委員会が厳しく査問する旨を伝えている。

## 遠隔授業は来年一杯続く?

### 全国教育審議会が話し合う

全国教育審議会が遠隔授業を21年12月末まで認め、今年履修出来なかった内容を来年までかけて学習出来るようにする見込みだと6日付付字紙が報じた。

し、遠隔授業に切り替える学校が続出。インターネット環境が整わず、遠隔授業に参加出来ない、対面授業を再開したら教師や生徒に感染者が急増したなど、様々な問題が生じている。

対面授業再開の時期は各自自治体の判断に任せられるが、対面授業を再開した場合、体温測定や社会的な距離確保など分野に及んでいる。教育はその一つで、3月以降、対面授業を停止

録を受け付けている。同州教育局は6日も、2021年を一つの教育年度として扱う方針を明らかにした。詳細は語られていないが、課題などをきちんと提出した生徒は次の学年に上がる事を認めるが、遠隔授業を受ける事が困難で課題も提出出来なかった生徒達

は、来年も現在の学年の授業を受けられるよう配慮される。現場の関係者は対面授業の重要性を認め、対面授業再開を決めた自治体の学校に在籍する生徒は対面授業に戻る事を勧められているが、その場合は、体温測定や社会的な距離確保、マスク着用用手

洗い励行などの規定厳守が大前提となる。聖市のように、教師や生徒の集団検査を行っている自治体もある。他方、教材の受取や課題の提出が困難な生徒への愛情や支援は惜しまない、様々な困難を経てきたし、今も大変だが、諦めるといふ選択肢はない」と言う父親に子供達も懸命に応えている。

国立気象観測所(Inmet)は6日、伯国中で猛暑のため、熱中症で亡くなる人が出ることや、全国的に記録的な暑さが続いていると警告を発令した。6日付付字紙が報じている。

よって引き起こされる熱中症の原因で亡くなる人が出る可能性がある」として、中西部と南東部の一部地域を危険地域に指定した。熱中症への警告は、連邦直轄区やゴイアス州、マット・グロソ州、南マット・グロソ州、ミナス・ジェライス州、サンパウロ州、アラゴアス州、パラナ州、トカンチナス州に出されておられ、聖州ではカンピーナスやパウ

の南米予選も始まるが、全国選手権も休みな行われる。今日はコリンチヤスが本拠地イタケラでサントスとの伝統カードを行う。今年のコリンチヤスはリベルタドール杯の出場もなく、全国選手権でも現在14位と目立たない状態が続いている。今後、試合に勝って、今後に弾みをつけたいところだ。

激減が起らないような配慮がなされている。IMFは、非常に活力的な政策を講じて、より深刻な(リセッション)を回避し、金融市場を安定化させると共に、新型コロナウイルスの影響に晒される貧困層の人々の損失を軽減したと表現している。

だが、これらの政策が諸刃の剣となり、財政面に多大な負担を生じさせた事も指摘。感染の第2波が来た場合は、景気後退が長期化し、社会的な影響が甚大化する可能性があるや、公的負債のレベルが高く、投資家からの信頼感を失う可能性についてIMFは警告している。

IMFは公的負債がGDPと同額になる可能性を指摘し、このレベルが当面は続くとの中期展望も示した。また、経済基本金利が低下しているという事も指摘した。IMFによると、長期金利を下げ、公的負債のコントロールを失わないためには、公的支出を減らして、生産性を上げる事が必要だという。また、投資家の信頼を維持し、金利の上昇を防ぐには、伯国政府が支出上限を厳守する必要がある事を強調。一方で、伯国は外債準備額が充分なため、他の新興国より有利との見解も示した。

CCJのシモーネ・テベット委員長は、8日にも報告官となる上議を指名する予定だ。サバチーナでは、新判事候補に長モラエス氏が最高裁判事に指名された時は、11月27日の委員で投票を行うベットの委員長は、8日にも報告官となる上議を指名する予定だ。サバチーナでは、新判事候補に長モラエス氏が最高裁判事に指名された時は、11月27日の委員で投票を行う

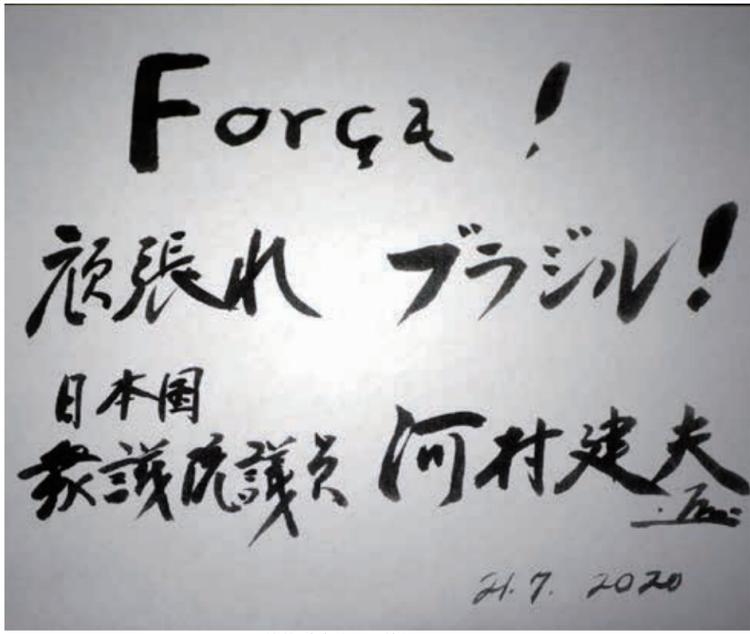
カシオ氏はボルソナロ大統領が選んだ最初の最高裁判事候補で、「福音派の保守派」を求めている。カシオ氏は「福音派の保守派」を求めている。カシオ氏は「福音派の保守派」を求めている。

カシオ氏はボルソナロ大統領が選んだ最初の最高裁判事候補で、「福音派の保守派」を求めている。カシオ氏は「福音派の保守派」を求めている。

# 河村衆議からマスク2万枚

## 伯外務省通して援協に寄付

「フォルサー! 頑張れブラジル!」河村健夫衆議院議員による心のこもった直筆応援メッセージと、2万枚のマスクが届いた。ブラジル外務省を通じて送られたもので、9月21日にサンパウロ日伯援協(与儀上原昭雄会長)が同外務省サンパウロ事務所に出向いて受け取った。段ボール7箱、総重量は約100キロ。それを9月23日に援協本部で、希望の家、こどもの家、憩の園の代表に各2千枚ずつ分けて寄付した。



河村衆議直筆の応援メッセージ

河村衆議は日本ブラジル議員連盟(麻生太郎議長)の事務局長を務めるほか、日中友好協力促進協会の会長も務めており、同協会の会員会社が



3福祉団体への譲渡の様子

大量にマスク在庫を抱えていることから寄付する運びとなったという。マスクを外資で送るために在日ブラジル大使館に相談したところ、ブラジル側の受け取り先の指定が必要となった。そこで日中友好協力促進協会から「できれば日系医療機関との案があり、7月1日に日本ブラジル中央協会事務局を通じて援協へ引き取りの相談が入り、同協会が引き受けることになった。マスクは日本向けに、中国で生産されている使い捨ての不織布マスクで、河村議員のメッセージのほ

かに「河村建夫衆議院議員は内閣官房長官などの重要なポストを歴任され、現在は日本ブラジル議員連盟の事務局長を務めておられ、今後も両国の懸け橋として日本から番遣い親日国家ブラジルをもっと身近なものにしていくと信じております」との期待を述べた。

10月休館日のお知らせ  
在サンパウロ日本国総領事館(桑名良輔総領事)は10月12日(月)に「フッサ・セニョ

ジャパンハウス オンラインで日本文化紹介  
「JH エリック・アレシヤンドレ・クルグ館長」が、オンライン上で日本文化を紹介する企画「#JHSPONLINE」の

白神山地 三味線運動会  
「白神山地」の三味線運動会が、オンライン上で日本文化を紹介する企画「#JHSPONLINE」の

白神山地内にある青池 (JH提供画像)

# 鹿児島祭り450食販売の盛況

## 多方面から献身的協力集まる

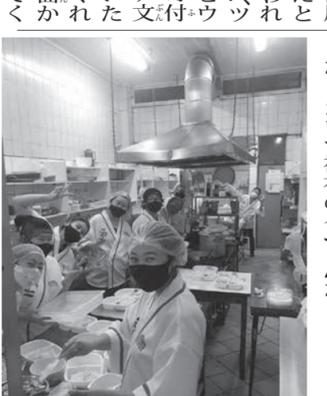
「本当に多くの方から支えていただきました。こんなに嬉しいことはありません。Muito Feliz!」ブラジル鹿児島県人会の上園モニカ会長(三世)は満足げに語った。

同県人会は9月27日、サンパウロ市リベル



鹿児島県人会メンバー(二列目の右から2番目が内村副会長、その左隣が上園モニカ会長)

「本当に多くの方から支えていただきました。こんなに嬉しいことはありません。Muito Feliz!」



調理の様子

「本当に多くの方から支えていただきました。こんなに嬉しいことはありません。Muito Feliz!」



9月16日の火災現場



火災現場近くにいたオオカワウソ

# パンタナール火災の真実

## 現地からオンライン緊急報告

「本当に多くの方から支えていただきました。こんなに嬉しいことはありません。Muito Feliz!」

**Dr. MONICA Y. MORISHITA** 電気鍼療法 もぐさ、レーザー 磁石による治療 体重減少にも効果的  
Biomédica 生物医科学  
Pós-Graduação em Acupuntura 大学院で針灸学を専攻いたしました  
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai) Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)  
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp" E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

**Dr. MONICA Y. MORISHITA** 電気鍼療法 もぐさ、レーザー 磁石による治療 体重減少にも効果的  
Biomédica 生物医科学  
Pós-Graduação em Acupuntura 大学院で針灸学を専攻いたしました  
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai) Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)  
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp" E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

**Dr. MONICA Y. MORISHITA** 電気鍼療法 もぐさ、レーザー 磁石による治療 体重減少にも効果的  
Biomédica 生物医科学  
Pós-Graduação em Acupuntura 大学院で針灸学を専攻いたしました  
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai) Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)  
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp" E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

**Dr. MONICA Y. MORISHITA** 電気鍼療法 もぐさ、レーザー 磁石による治療 体重減少にも効果的  
Biomédica 生物医科学  
Pós-Graduação em Acupuntura 大学院で針灸学を専攻いたしました  
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai) Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)  
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp" E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

**Dr. MONICA Y. MORISHITA** 電気鍼療法 もぐさ、レーザー 磁石による治療 体重減少にも効果的  
Biomédica 生物医科学  
Pós-Graduação em Acupuntura 大学院で針灸学を専攻いたしました  
LOCAL: Rua Thomaz Gonzaga, 95 - M (Iwate-Kenjinkai) Liberdade - São Paulo - SP (perto do metrô Liberdade)  
CONTATO: (11) 99236-3956 "Recado no WhatsApp" E-mail: monicamorishita@yahoo.com.br

小説 **クリスト・レイ** 中島宏 (53)

無論、マルコスだってカトリックの信者であるから、キリスト教に対する思いは一緒のはずなのだが、どうも、その辺りになるとどことなく違和感を持ってしまふ。どこが違うのか、何が違うのか、と考えてみても、はっきりした答えは見出せない。いわゆる信心の度合いの違いということなのかもしれない。マルコスは一応、そう考えている。たしかに彼の場合は、今まで宗教に対して真摯に向き合ってきたことを深く考えてきたことではない。彼にとってキリスト教は、彼が生まれた時からすでにその信者ということになっていたわけだし、自分がそれを選んで決めたわけでもない。すべて、親たち、そして先づ決めたという形跡はまったくない。

いわば、彼の預かり知らぬところで、キリスト教信者としての人生をスタートさせている。だから、彼自身は宗教というものに関して深く考えたこともなく、この問題について悩んだというような経験は持っていない。いつみれば彼の場合、キリスト教に対する思考はひどく淡白な感じのものであり、それは日常的な、あるいは習慣的なものとして存在しているにすぎないというような形を持つものであった。

それに対して、このクリスト・レイ教会に関係する人たちは、それがもっと重い宗教観を抱えているようにも見える。もちろん、一人一人に聞いてみたわけではないが、ここにある雰囲気から察した感じでは、彼らの中にある宗教観には、かなりの真剣さとそれなりの内容が詰まっているようにマルコスには思える。彼のように通一遍の、ありきたりの思考ではなく、ある種の苦悩から生まれて来たものが、人々の心の中でどっしりと居座っているような、そのような重さを感じさせるものがそこには存在していた。この教会の建築工事の現場には、そういう、はっきりとは形容できないが、しかし、明らかに異質ともいえる空気が流れている。

ここに人々だけが共有できる特別の思考は、つまるところ彼らの持つ歴史に根ざしているということなのかもしれない。アヤの説明通りだとすれば、ここにいる日本人たちはそのほとんどが、隠れキリシタンの末裔であるという。キリスト教という、それまでの日本には存在しなかった新しい宗教を受け入れたことによつて、彼らの先祖たちは想像を絶するほどの苦しみ味わわされたのだが、その苦悩の流れを強制的に受け継がされて来たその子孫たちが、遙か遠いこのブラジルの国までやって来て、彼らにとつては地の果てのような世界で、彼らだけの教会を建てようとしている。それが、マルコスにとって不可思議でもあるし、同時にまた、その心境が理解できそうにも思える。ただ、本当のところは、彼に簡単に分かるほど単純なことではないであろう。

あるいは、アヤと話を進めて行くうちに、何かそこから見えるてくるものがあるのかもしれない。そんなふうにも考えてみる。教会に関するくだりは、宗教へのこだわりが繋がっていくものであり、さらにはマルコスの場合、それはアヤへのこだわりにも結びついて行くことになる。



ニッケイ俳壇 (1083)

伊那 宏選

中川千江子

猪野みつえ

藤井ひろすけ

小松 八景

故・広田 ユキ

須賀吐句志

前田 昌弘

那須 千草

原 はる江

玉田千代美

林 とみ代

鈴木 文字

石井かず枝

上村 光代

大野 宏江

中中美智子

山畑 泰子

山畑 嵩

佐藤けい子

大槻 京子

山崎 栄治

松森さくえ

島田喜久枝

上川 好秋

斎藤 蒼山

遠藤 幸雄

上地 花子

福田 良平

武内 眞平

平岡 輝美

中川 千江子

今立 歸

鈴木 甘雨

自由吟

若き日の夢がいついばい古手帳

風薫る遠くの友の声を聞く  
箱庭がさして庭に蜂の舞  
亀鳴くや重い腰上げ掃除する  
グアタハラ

直球で示す誠意やストリチャー  
竹光も殺陣師が振れば風呼ぶ  
竹光の妖刀一閃閃光返る  
蝦蟇む昨日放ちし同じ場所  
ボクベア

狭くとも丹精の庭風光る  
二才児の一人歩きや風光る  
おどりの背比べや葱坊主  
悪童の頭はね行く葱坊主  
サンバロ

風光る歩けるといふ幸せに  
風光る波が消し行く砂の文字  
おだてには乗らぬまじり葱坊主  
腕白の棒につかれ蜘蛛の紐  
ライオン

静かに垂れるふらんこ  
過すことが多くなった今年三月以降  
として入道が疎かになった  
気が重なる。そう、その結果ふらんこが静かに  
垂れたままになったのである。子供たちは家において  
パノノやスマをいじるしかない。早くふらんこ  
が揺れおしに寝る日々が来てほしいものだ  
病明けの大地の葱の花  
サンバロ

鞆や誰待つとなき暮れなつむ  
葱坊主の如き姿  
風光るうなじ眩しき少女かな  
風光るひらきしノート眩しかり  
カンパナス

自肅とて孫とフランク相乗る  
老いぬれば晴耕雨読に生る道  
晴耕雨読は雨降れば読みふける。人の生き  
方として何が理想的だと私たちが古い者は教えら  
れてきた。主として農民の考えであるが、機械  
化された現代農業は必ずしもそうではない。これ  
は一つの論として万人に共通した人生訓として今  
でも通用する思想なのである。ただ作者は「老い  
ぬれば」とお断りし、晴耕雨読こそが老いぬる  
の理想的な生き方だと説いて止まらぬ。晴れの  
日は運動に励み、降る日は趣味の俳句に精進す  
る。まさに高齢者の生き方として理想的ではないだろ  
うか  
サンバロ

花マンガ素顔美し村育ち  
葱坊主明日は天気におくれ  
サン・カルロス

プランコで飛んで行きまし春の空  
人は皆幸せ探し春を呼ぶ  
春寒く頼る夫なき自肅中  
フタマ・ド・スール

菜園のツツン伸びる葱坊主  
葱坊主誰が高いと音を比べ  
溜池におたまじやくしが黒々と  
釣堀に竿差し出して風光る  
サンバロ

鞆にはあちやん乗せて孫ゆるする  
マスクして半年振りて吾の家の  
蜘蛛二匹孫は大事に育て居り  
アマリスバ、チリ咲いて春たふ  
サンバロ

親子してプランコ漕ぐや空高く  
世の隅にわびし春を待つ  
趣味多く病も多き春の行く  
髪染めて若さを貰ひ春時雨  
サンバロ

近衛兵の不動の姿勢葱坊主  
五線譜に上下遊さま蜘蛛弾む  
自肅なんて何処吹く風や蜘蛛の国  
行く末は高跳び選手蜘蛛の夢  
サンバロ

少しづつ活気戻り春の街  
葱坊主出頭は芳士大将  
風光る園の緑の鮮やかさ  
人生に無駄なものなし風光る  
サンバロ

蛙の子をおたまじやくしと知らぬ子等  
ふらんこを夢中で漕ぐ子日暮れ時  
ふらんこ遊びで漕ぐを父となり  
葱坊主摘んで叱られそかく子  
サンバロ

窓開ければ気持ちよき朝風光る  
木の下でふらんこ揺り夢を見る  
ふらんこにすべて忘れて楽しみぬ  
葱坊主つくつくんと伸び始む  
サンバロ

四方の山彩うつりつ風光る  
蜘蛛の群稀の出会いや池淀む  
フタタツン森の広がり風光る  
サンバロ

友情は縦横糸を紡ぐ春  
淡々と生きて古希過ぎ風光る  
生かされて尊き一日蜘蛛生る  
フルートと琴のゴラボで春の海  
サンバロ

山間の鍾洞や蜘蛛の陣  
コ罗纳や葱坊主葱坊主  
葱坊主種採り用はりボン付け  
しつかりとコ罗纳対策春暮し  
サンバロ

ふらんこや人待ち顔に暮れなつむ  
ふらんこの漕ぐでもなしに老一人  
葱坊主曲がりくねり活けられる  
サンバロ

「葱を活けるとは余り聞かない。時々風に吹かれて  
倒伏する葱坊主を菜園で見かけるが、倒れた葱は  
起き上がるや頭を持ち上げ、そのうちまた倒さ  
れて、そんな繰り返して、曲がりくねった葱坊  
主となってしまう。珍しくて小さな花瓶に活けて  
あげたのだらう。町住まいの人の繊細な思いが作  
った句かと思ふ。句材はどにでもあつたのだ。  
探し物さがしあかねて春暮れる  
イタセリカ・ダ・セラ

「昭和時代は第二次世界大戦を挟んで戦前・戦後  
の二つに分割される。本句の作者は戦中あるいは  
戦後生まれの方であらうか、動乱から平和へと移  
行し、日本の繁栄を目の当たりにされてきた世代  
である。過ぎていけば何もかも懐かしくきた世  
代の世でも変わらぬ人の情ながら、遠くブラジル  
に居ての思いは格別濃いものだ。戦後を代表す  
る黒澤作品の映画『生きる』のラストシーン、困  
難を押しつ自ら手がけた公園のふらんこに腰かけ、  
「命短し」のメロディーを口ずさみながら、来し方  
を思いつ死んでゆく主人公の姿が、私たち移民  
の姿と重なる  
サンバロ

「誰乗ることもないふらんこが、公園の片隅に  
所在無く揺れている。人が乗ってこのふらんこ  
誰も見向きもしてくれないふらんこの、そこにう  
らましい孤影を作者は見ただのである。かつて我が  
子が、そして孫も競って遊んだであろう遊具  
ふらんこはそんな数えきれぬ歴史を背負った  
のである。上五七との関係性を一端断ち切り、  
そこに空間を持たせて句の世界を広げた。(影を  
の余韻を込めた使い方も効果的)  
サンバロ

冬は朝ニヨッキスレで新作を  
ケの朝袖の香をうけてキキ出来  
冬ニヨッキスレで三年染し冬  
マール豆腐煮は孫は四十歳  
サンタ・マリオン

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

冬は朝ニヨッキスレで新作を  
ケの朝袖の香をうけてキキ出来  
冬ニヨッキスレで三年染し冬  
マール豆腐煮は孫は四十歳  
サンタ・マリオン

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も自肅の日々なりし  
何時までも続くコ罗纳の余寒かな  
海の日や世界の海の波高し  
春暁を鰯の鳴く声聞きし旅  
へそくりを弾む御馳走山笑ふ  
春愁を蹴飛ばすよよな青き空  
老木のジャカランダ満開春惜しむ  
はね返す一徹いとも春の土  
眠れぬ夜夢も現に囁れる  
小鳥等が啄み降らす白いペー  
五世まで揃い祝われる葱坊主  
甘えん坊に育ち末子葱坊主  
吉田しのぶ

もてなしの鯨の刺身舌つづみ  
猫の顔ほどの庭にもつばめ来る  
籠り捨てる出前のごみに蜂の舞  
ウィルスに暮らさず育ちて片太し  
春一転破璃ゆるがせつ夜が明けける  
満開の素心花の下フエイヤラ寂し  
ふんわりと臘月夜の下のいる  
春暁や今日も



